

## #7. 散布図行列に有意性や相関の大きさを示すグラフを表示 (JMP 15 新機能)

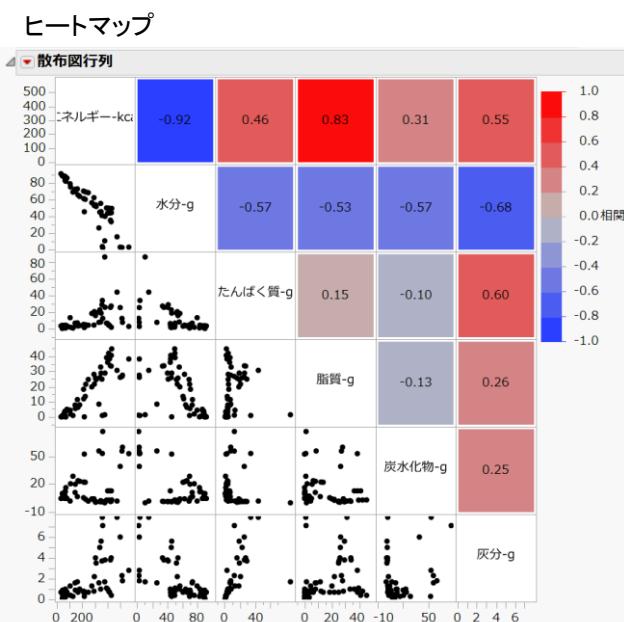
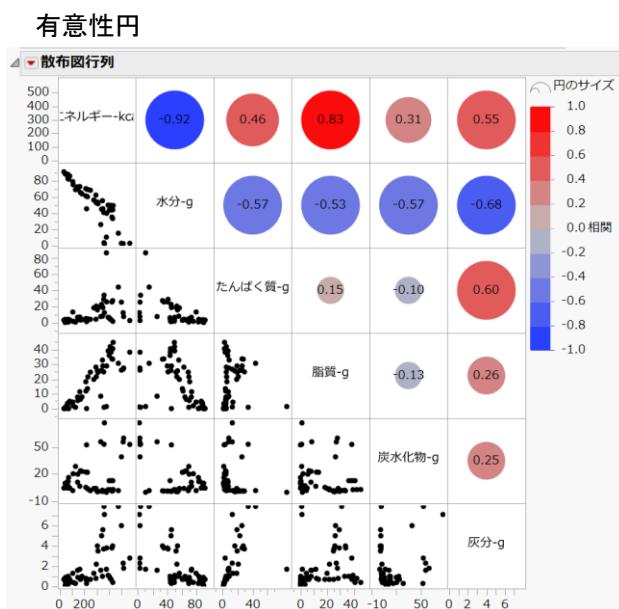
[多变量の相関]において、「JMP 15」では、散布図行列のレポートにおいて、相関係数の大きさを色のグラデーションで表示する機能、相関係数の有意性を円の大きさで表示する機能が追加されました。変数が多いときに、変数間の相関の大きさを視覚的に判断するツールとして有効です。

### ■操作: 散布図行列の有意性円、ヒートマップを表示

レポート「散布図行列」の左上にある赤い三角ボタンから「行列のオプション」を選択し、「有意性円」または「ヒートマップ」を選択します。



散布図行列の上三角部分が有意性円、またはヒートマップになります。



有意性円の大きさは、相関の  $p$  値の大きさにより、円の大きい順に次の 6 段階で表示します。

非常に大きい --  $0 < p$  値  $\leq 0.0001$ 、 $0.0001 < p$  値  $\leq 0.001$ 、 $0.001 < p$  値  $\leq 0.05$

$0.05 < p$  値  $\leq 0.1$ 、 $0.1 < p$  値  $\leq 0.5$ 、 $0.5 < p$  値  $\leq 1$  -- 非常に小さい